

Tidal Enterprise Orchestrator : プロセスの開始

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[プロセスを開始する方法](#)

[アドホックに](#)

[トリガ](#)

[違いとは何か。](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Tidal Enterprise Orchestrator (のまたはアドホックの TEO) のプロセスを、トリガー開始する 2 つの方法を知るのを助けるように情報を提供したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal Enterprise Orchestrator 2.1 または それ以降に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

プロセスを開始する方法

TEO はイベント駆動型製品です。

アドホックに

TEO はあらゆるプロセスを右クリックし、プロセスを『Start』を選択すればアドホックに開始することができます。これは Options タブで動作する 1 ひとときで、プロセス迄のオペレーションタブで選択してもらいますアーカイブを、見られる場合があります。だれがプロセスを開始したかフィールドから開始する示します。

トリガ

TEO はまたトリガーで開始することができます。これらのトリガーは SAP CCMS アラートが、Cisco UCS エラー、受信電子メール、解決策事件変更、SAP サーバ、SCOM 2007 アラート、SNMPトラップ、更新済の、Windows イベント、VMWare イベントである、内部 TEO 変数スケジュール (予定表の使って作動する) 含まれ、内部 TEO タスクの作成しましたり/有効期限/変更。TEO タスクはアラート、事件、承認要求、ガイドされたオペレーション、入力 要求および確認が含まれています。

違いとは何か。

これら二つのプロセス間の主な違いは他の人との交流および 1 基の時間実行です。トリガーベースのプロセスは 1 回を実行できますまたは方法による何回も、トリガーは設定されます。きちんとトリガーを設定するか、またはそれらについて詳細を学ぶために、TEO ドキュメントを参考にするか、または[テクニカルサポートに](#)連絡して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)